

令和7年度すくわくプログラム活動報告

江戸川区 大杉保育園

テーマ「 自然 」



保育園の園庭にある木の実や花に気づいたり、虫を見つけて喜んだり、自然に対して興味・関心を向ける姿が子どもたちに見られていることから、身近にある自然に触れ、子どもたちの不思議・関心をさらに深めていきたいとテーマを設定しました。



《小松菜の土づくりに興味津々》

肥料を混ぜていると

「せんせい、おかかこんぶみたい」

様々な土が混ざり感じたのかな。

《小松菜の収穫》

プランターにかけてあったビニールを

外し、大きくなった小松菜を見て

「わぁー！！」「おいしそう」と喜びの声。

《いちょうの葉を沢山見つけて》

「わー、はっぱのプールみたい！」

「パーティーみたいだねー！！」

《遊びを見てまねっこ》

「はっぱのおはなだね！」

次々と遊び方を発見しています。



《どんぐりって楽しいね》

スロープにどんぐりを転がしてみる
子どもたち。

♪どんぐりころころどんぶりこ～♪と

歌い、たくさん置いて「はやーい」

「ころころしてる」と転がる様子を

楽しんでいました。

《氷の実験》

気温が低くなると聞き、バケツやカップなどに水を入れ氷になるかどうか実験…翌日、見てびっくり！

「見て！氷になってる！」「こんなに大きいのが見つけたよ！」と冬ならではの自然に触れ楽しみました。



《5歳児ピーターパン組ラボ（研究所）》

小さいクラスの子が見つけた木の実等、ピーターパンラボ（研究所）に持ち込まれます。

「これは何の木の実だろう？」

「こっちかな？」

と調べ、結果を報告。調べることでさらに興味が広がっています。



《まとめ》



- ・園庭の木に実がなっていることに気づき、手に取ってみたいという様子があったので、果実を目の前にして手に持った感触や匂いを確かめられるようにしました。この名前は何かに関心を持ったり、木の実や葉を集めたり、いろいろな遊びに広げて楽しむ姿がありました。寒い時期に氷が張っているのを見つけると、子どもたちが「氷を作りたい！」といろいろな容器や場所を考え実験をしていました。
- ・柿やキウイフルーツの実の収穫祭を行い展示すると「園庭にキウイフルーツの木があるんですね。」「こんなに採れたの？すごいね。」と保護者の方も子どもと一緒に関心を向け、親子での会話が広がり反響を寄せてくれる様子がありました。

活動を進めていく中で、魅力的な環境作りやかかわり、遊びの保障、職員同士のコミュニケーションが大切であると学びました。今後も子どもたちがわくわくする環境やかかわりを考え進めていきたいと思えます。